

第9章 「語根」から単語を増やす

前章では辞書の使い方、特に語源に着目することで語感を磨く、という作業のやり方を解説しました。

この章では、単語を構成する語源の部品——接頭辞・接尾辞・語根——の中でも、**単語の意味の中心をなす「語根」を利用して単語力を増やしていくやり方**についてお話ししたいと思います。

「語根」とのつき合い方は、接頭辞や接尾辞よりも、やや難しい。接頭辞はre- (back 戻って)、ad- (to ~へ)、trans- (across 横切って、別の場所へ) というふうに、ひと目でわかるものが多いのです。

接尾辞も、単語の最後に-mentや-izeのような、わかりやすい形でつけられていて、品詞や名詞の種類(人を表す名詞、抽象名詞等)を示すものですから、困難なく受け入れることができます。

そもそも、接頭辞や接尾辞は、単語の最初か最後につけますし、形が大きく変わることも少ないので、見たときに気づきやすいのです。それと比べると**語根はちょっと複雑**です。

例をあげてみましょう。

demo- / dem-は、ギリシア語に由来する、「民衆、人々」を表す語根で、この語根を含む代表的な単語に**democracy**と**pandemic**があります。democracyのほうはすぐにわかります。

• democracy 図「民主主義」

✕ demo- (人々) + -cracy (語根・接尾辞: 政治、支配)

= 人々が行う政治 → 民主主義

* -cracyは接尾辞のはたらき(名詞をつくる)と語根のはたらき(名詞の意味「政治・支配」)の両方を持っている。

pandemicは新型インフルエンザの流行によって日本語に取り入れられました。「パンデミック」という言葉に見覚えのある方も多と思います。この単語は3つの部分に分かれます。

• pandemic 図「全世界的流行病」

形「(病気が) 全世界的に流行の」

✕ pan- (語根: すべて、すべての人) + -dem- (語根: 人々) +

-ic (形容詞の接尾辞) = すべての人々に広まっていく病気の

似たような単語で、大学受験生が覚えている単語に**epidemic**があります。

• epidemic 図「伝染病」

形「人々の間に広まっている」

✕ epi- (接頭辞: 上に、間に) + -dem- (人々) + -ic (形容詞の

接尾辞) = 人々の間に広まっている → 伝染性の、伝染病

慣れるまではめんどろなの語根です。

(1) difficultとdifferentの違い

高校生たちは、**different**と**difficult**をよく間違えます。

文章中で見間違えるだけでなく、単語の意味そのものあいまいで、区別がつかないのです。

こんな簡単な単語を...困った、と嘆く前に、彼らはなぜ間違えるのかを考えてみましょう。私たちの単語の勉強のヒントになります。